

iPS細胞が切り拓く今後の医学研究

2009年2月4日(水) 入場無料(事前登録/受付順)

慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎ホール

【主催】 慶應義塾大学研究推進センター、慶應義塾大学iPS細胞研究拠点
【後援】 慶應義塾グローバルCOEプログラム
 (幹細胞医学のための教育研究拠点、In vivoヒト代謝システム生物学拠点)
 プリチストン神経発生・再生学寄附講座

人間の皮膚細胞からiPS細胞(人工多能性幹細胞)の作製に成功したことが報じられて以来、研究が飛躍的に進展し、最近では安全性の高い「新世代iPS細胞」作製の成功が、再生医療の実現に向けた第一歩として世界的な脚光を浴びています。シンポジウムでは、グローバルに最前線の研究をリードしている方々に最先端の研究成果や、知財戦略、国としての取り組みなど、せきすい受傷者団体には医療応用についてご講演いただき、今後のiPS細胞研究の方向性を展望します。

■プログラム 司会：青野 由利(毎日新聞論説室 科学ジャーナリスト) (開場 9:30)

10:00~10:10	挨拶	慶應義塾長 安西 祐一郎
10:10~10:30	挨拶・講演	「文部科学省におけるiPS細胞研究への取組み」 菱山 豊(文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 課長)
10:30~11:30	特別講演	「iPS細胞の可能性と課題」 山中 伸弥(京都大学iPS細胞研究センター長/京都大学再生医科学研究所 教授)
11:30~12:00	講演	「iPS細胞を用いた角膜、涙腺の再生プロジェクト」 坪田 一男(慶應義塾大学医学部 教授)
昼食休憩(60分)		
13:00~13:40	招待講演	「iPS細胞からの血液系細胞の誘導」 中内 啓光(東京大学医科学研究所 教授)
13:40~14:20	招待講演	「網膜変性疾患とiPS細胞」 高橋 政代(理化学研究所 網膜再生医療研究チームリーダー)
休憩(10分)		
14:30~15:00	講演	「iPS細胞がもたらす循環器疾患診療へのインパクト」 福田 恵一(慶應義塾大学医学部 教授)
15:00~15:30	講演	「高純度体性幹細胞を用いたiPS細胞誘導の効率化と高品質化」 松崎 有未(慶應義塾大学医学部 特別研究准教授)
15:30~16:10	基調講演	「iPS細胞を用いた神経再生戦略」 岡野 栄之(慶應義塾大学医学部 教授)
休憩(10分)		
16:20~16:40	講演	「先端医療分野の知財戦略」 羽鳥 賢一(慶應義塾大学知的資産センター 所長)
16:40~17:10	招待講演	「iPS細胞と次世代創薬」 中西 淳(武田薬品工業株式会社開拓研究所 主席研究員)
17:10~17:40	招待講演	「患者の望むiPS細胞治療：その道筋」 大濱 眞(NPO法人日本せきすい基金 理事長)
17:40~17:45	挨拶	慶應義塾常任理事 西村 太良

申込先：<http://event.crp.keio.ac.jp/>

連絡先：シンポジウム係 電話 03-5427-1776 e-mail: ips-symposium@adst.keio.ac.jp